

# efit+ for TCU Ver.1.4.3.0 アップデート概要

2016年7月  
株式会社 ニコン・トリンプル

本書では、efit+ for TCU Ver.1.4.3.0 で追加、変更された機能の概要を説明します。

## ■ ソフトウェア構成表

◆efit+ for TCU Ver.1.4.3.0 の製品構成は下記の通りです。

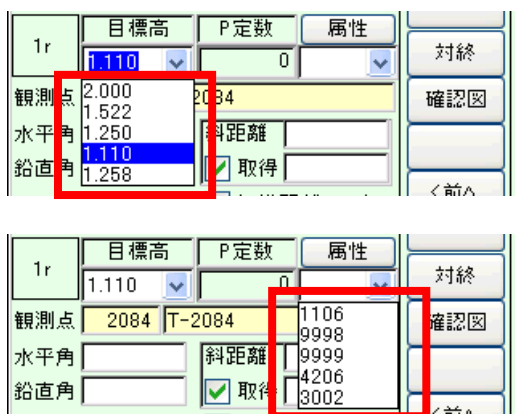
製品名	コード	備考	改良
efit+T 測量基本ソフト	B-E1-T00	基本キットに含まれます	対辺測定改良
efit+T 測量観測	B-E1-T50	基本キットに含まれます	RoboticLite Ver.2.0.3.0対応
efit+T 測量計算	B-E1-T51		
efit+T 線形計算	B-E1-T52		
efit+T 縦横断観測	B-E1-T53		RoboticLite Ver.2.0.3.0対応
efit+T 平板観測	B-E1-T54		
efit+T GPS観測	B-E1-T55		
efit+T オートフォーカスOP	B-E1-T56		
efit+T 地籍観測	B-E1-T57		
efit+T Nikon通信OP	B-E1-T58		
efit+T 定点観測	B-E1-T59		

## ■ RoboticLite Ver.2.0.3.0 対応

平面観測、測設、横断観測オプション

### ◆平面観測

目標高や属性などの履歴が RoboticLite でも選択できるようになりました。  
属性リストデータが RoboticLite と同期できるようになりました。  
確認図が RoboticLite で確認できるようになりました。



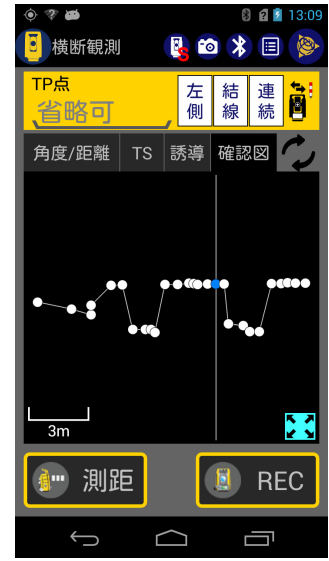
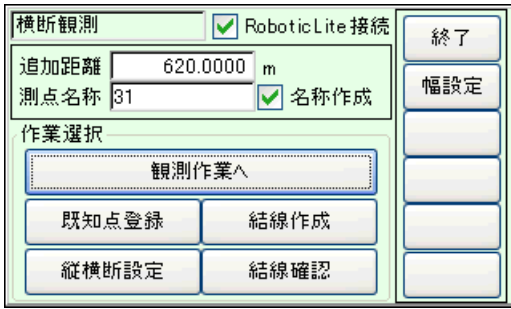
### ◆測設

目標高の履歴が RoboticLite でも選択できるようになりました。  
登録した測設点が RoboticLite でリスト表示や確認図表示ができ選択できるようになりました。



◆横断観測

新たに横断観測と RoboticLite が接続できるようになりました。  
 目標高、杭長、点区分の入力やボールデータの入力が RoboticLite 側で入力できます。  
 測線誘導の確認が RoboticLite 側で行えます。  
 観測した断面形状の確認が RoboticLite 側で行えます。

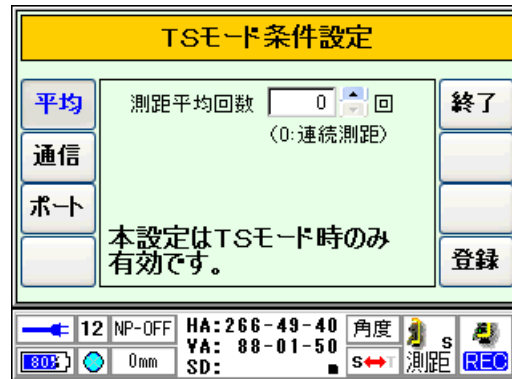
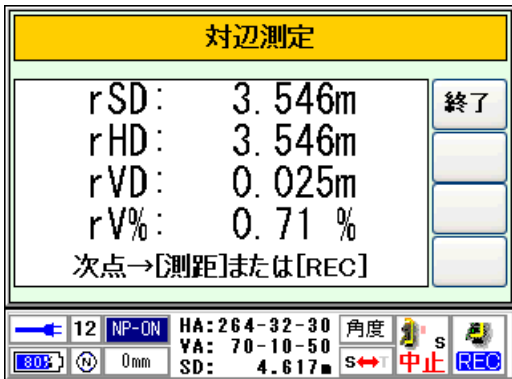


※RoboticLite Ver.2.0.3.0 についての詳細は、  
 RoboticLite Ver.2.0.3.0 のアップデート概要を  
 御覧ください。

■ 対辺測定に連続測距対応

TSモード、機能メニュー

◆対辺測定で測距平均回数を「0回」に設定しておく、2点目以降の観測で連続測距が行え、結果が連続で確認できます。  
 測距ボタンを押す手間が省けます。



以上